

浪江町
関連記事

3月12日
朝刊

平成23年3月12日
福島民友掲載



平成23年3月12日
福島民報掲載



3月13日
朝刊

原発の安全神話 崩壊



原子炉建屋爆発

住民、不安の脱出
怖い「これからどうなる」

抽出3人全員被ばく



地震対策 もろさ露呈



福島第一号機

冷却装置動かず
津波で非常電源水没する
評価「レベル4」か



福島第一号機

平成23年3月13日
福島民報掲載

福島民友

国内初の炉心溶融



東日本大震災

放射性物質を検出

半径20キロ避難指示拡大

第1号機・建屋爆発、4人けが

死者150人超、不明228人

避難13万人、全壊4棟

全国の死者・不明196人超

平成23年3月13日
福島民友掲載

浪江町 関連記事

復興への願い

復興への願いを共有する催しが盛んに行われた。集い、祭り、イベントを通して町民同士が絆を確かめ合ったほか、町でもIT機器を活用した絆維持の取り組みを進めている。

浪江町
新設庁舎で業務開始

二本松 事故から4カ所目

平成24年10月2日 福島民報掲載

悲しみ胸に未来へ

祭壇に震災前の写真

一日も早い帰還決意

町にサイレン黙とう

苦難を越え
進んでいくく

3月11日 希望の日に

平成24年3月12日 福島民報掲載

き。今まで 二本松で なみえ町十日市祭

B.1 日本一 なみえ焼そば提供

復興願い 太鼓演奏

平成25年11月24日 福島民報掲載

古里のため飛躍誓う



亡き友の分まで

平成26年1月13日 福島民報掲載



平成27年1月30日 福島民報掲載

全国に避難町民の辯維持

タブレットきみづから配布

アプリ
たまご新聞開発

本社協力 県内11市
内11市
ス 毎日配信

平成26年1月13日 福島民報掲載



平成24年11月24日 福島民報掲載

伝統守り絆つなぐ

1000人参加「なみえ復興のつどい」
原田直之さん熱唱



平成26年3月23日 福島民報掲載

古里思ふ歌 心つなぐ

浪江町 関連記事

復興への歩み

復興への具体的な歩みも少しずつ進んでいる。町内では複数の民間企業が業務を再開したほか、現在も業務再開を目指して活動している企業もある。警察や消防なども震災後約1年で活動を再開。農業再生に向けた取り組みも進んでいる。

9社 町内で業務再開

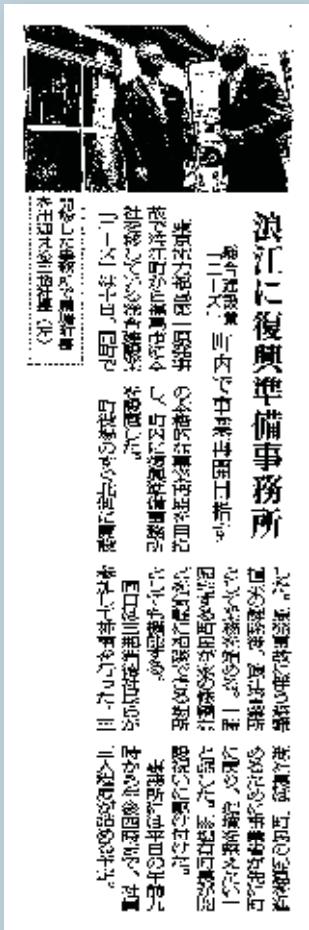
平成26年3月30日 福島民報掲載

1月から業務開始
平行工業同地の仮設庁舎

平成24年10月2日 福島民報掲載

平成27年10月17日 福島民報掲載

平成23年11月30日 福島民報掲載



浪江に復興準備事務所

福島第一原発事故による被災地として、浪江町は、多くの避難者を受け入れるため、復興準備事務所が設けられた。この場所では、避難者の生活支援や情報収集が行われた。

平成27年7月11日 福島民報掲載



経産副大臣が浪江町へ 再開の店舗視察し激励

叶さん（左から2人目）と
ともに店舗を見て回る赤平
副大臣（左から3人目）

と語った。
「おまかせだ」と
おもてなしをしてくれた
田代さんもいた。
「おまかせだ」と
おもてなしをしてくれた
田代さんもいた。

平成25年7月4日 福島民報掲載



販売用コメ 作付け

福島第一原発事故後初めて
作付けられた販売用コメが、
浪江地区の酒田地区で、
田植えされた。

平成27年5月19日 福島民報掲載



販売用コメ 収穫 原発事故後初 農業再生へ期待

平成27年10月14日 福島民報掲載